

写真で振り返る

4月の出来事



4/18(日) 郷の駅「ホッときもべつ」オープニングセレモニー

ゴールデンウィーク前の開業に向けて準備を進めてきた「郷の駅ホッときもべつ」のオープニングセレモニーが、喜茂別町の主催により施設前オープンスペースで行われました。多くの関係者や喜茂別町民、来賓の参列を得て、打ち上げ花火を合図に、郷の駅歓迎塔の除幕式が行われました。鈴川小学校の児童による和太鼓の演奏も披露されました。

また、4月28日には、商業施設アスペイラのグランドオープンを祝うセレモニーも行われました。



4/10(土)老人クラブ連合会総会

ふれあい福祉センターで、老人クラブ連合会「福寿会」の総会と懇親会が開催されました。平成22年度の事業計画の中で、昨年度はじめて行った定山溪温泉への日帰り温泉旅行を、今年度は毎月実施したいという提案がなされ、札幌市南区や定山溪との連携強化をもとに老人クラブの活動を一層活発にしていきたい、という気運が盛り上がりました。

4/22(木)観光ボランティアの会の総会



6年目を迎える喜茂別観光ボランティアの会(代表:吉見啓一氏)の総会が、喜茂別町商工会2階会議室で開催されました。今年度の事業計画として、郷の駅「ホッときもべつ」インフォメーションセンターでの案内活動が事務局より提案され、運営委員会における協議が整い次第、観光案内の協力など、ボランティア活動に向けた具体的な準備を行うことが、決定されました。

4/23(金) 子ども読書の日におはなし会

4月23日は、「子ども読書の日」です。子供の読書活動についての関心と理解を深め、読書の意欲を高める様々な行事を行う日として定められたものです。この日の図書室では、「おはなしおじさん」による絵本の読み聞かせ、手遊びや小さな道具を使ったお話などが行われました。子供はもちろんですが、大人もとても楽しんでいました。



4/29(木)「ジュンコ&チープ」コンサート



青年交流セミナー主催の「ジュンコ&チープ北海道180市町村コンサート」が農村環境改善センターで行われました。ジュンコさんとチープ広石さんのユニットを中心にバイオリンとチェロを含む4人が紡ぎだす音楽は、心にしみこむような歌詞に、ブルース、ジャズ、カントリー、ポップなど多彩な楽想がミックスした独自の世界を繰り広げ、聴衆の心を最後まで惹きつけて離しませんでした。道内180市町村公演の42番目に、本町を訪れたものです。

4/11(日)黒沼で電神様のお祭り

川上地区の山中にひっそり眠る黒沼(通称竜神沼)で、10年ぶりに電神様のお祭りを行いました。かつては、地区の方々が水の神様ということで毎年お祭っていたのですが、過疎化が進んだことなどもあって、近年は絶えています。山本泰照宮司さんを先頭に住民など10余名が、例年より雪深い山道の堅雪を踏みしめて黒沼のほとりに至り、祠を探して雪を掘り起こしました。しかし見つからなかったことから、雪中でお祓いをしました。



4/16(金)フレッシュ大学総会と開講式



フレッシュ大学の実行委員会総会と開講式が、農村環境改善センターで開催されました。総会では、新年度も概ね昨年度同様の事業を行うことが決定され、三浦信夫実行委員長ほか役員も留任となりました。また開講式では、フレッシュ大学学長にあたる麻生隆教育長からあいさつがなされ、「長年の人生の知恵とノウハウを活かして子どもたちの教育にも協力して欲しい」とメッセージが贈られました。

4/9(金)交通安全街頭啓発「旗の波」



新1年生を主な対象に、登下校時に交通安全街頭指導が1週間余りに亘って行われました。その期間中に、喜茂別警察官駐在所前で「旗の波」による交通安全街頭啓発キャンペーンが行われました。参加した多くの町民は、国道230号の両側に並んで黄色い旗を振って車のドライバーに交通安全を呼びかけ、近年再び増えている死亡事故の撲滅を願いました。

4/13(火) 青年交流セミナー総会

役場庁舎2階会議室で、きもべつ青年交流セミナーの総会が開催されました。昨年度の事業を引き継ぎ、今年度も、セミナー農園事業や「セミナーだより」の発行などが提案され、地域の活性化のため頑張っていく、という方針が確認されました。3年間代表を勤めた山岸康仁さんから、新代表として藤沢尚樹さんが選出されました。

